

# あすの安心

## 暗れ時々

女優の木内みどりさんが親の看取り、自身の死生観などを語ってくれました。2回にわたり紹介します。(聞き手・本田麻由美)

「死」のあり方に強い関心があるそうですね。二十数年前、父が病院で不意な死に方をしました。だから、私は大きな病院が嫌いだし、病院では死にたくないという思いが強いのです。子供の頃から「へそ曲がりなんです」——強烈な印象だったの

女優 木内みどりさん (65) [上]



立石和撮影

## 「生き方と死に方」母に教わる

「続いて夫の母を見送ったのですが、喉を切開して

人工呼吸器のチューブに

「義母には『意識がないまま延命治療を受けたくないから、いざという時はあ

きうち・みどり 1950年9月25日、名古屋生まれ。高校を中退して劇団四季に入団、テレビや映画、舞台などで活躍する。最近、ラトビア映画「Magic Kinoro」(日本未公開)に出演したほか、「ラムなどの執筆活動も。

交換に失敗したのか酸素が全身に回って、体が3割増しくらいに膨らんで……」

「義母には『意識がないまま延命治療を受けたくないから、いざという時はあ

なたに頼んだわよ」と、うるさいほど言われていたのに何もできなかった。寝る前の暗闇の中、義母の音が聞こえてきたんです。『あなたに頼んだの』って。ノイローゼになるくらい苦しかった。医師に説明して、もう止めてほしいと頼んだけれど『できない』と言われ、義母は長く集中治療室にいて亡くなりました。

「母は『もう時間がない』と分かっていたようで、会いたい人に次々来てもらいお礼を伝えてました。最期の3日間はずっとそばにいましたので、人が死んでいく姿を全て見せてもらったと思います。あの時から私は、死というものには怖いことではなく、誰にもいずれ来ること、『生きる』ことには死ぬことだ』と思えるようになりました。母の死に、人間の生き方、死に方を教えてもらったと思います」

取得を打診したところ、「社内制度がない」と告げられ、「心が折れた」と振り返る。かろうじて産休を取り、契約の切れる年末に退職した。

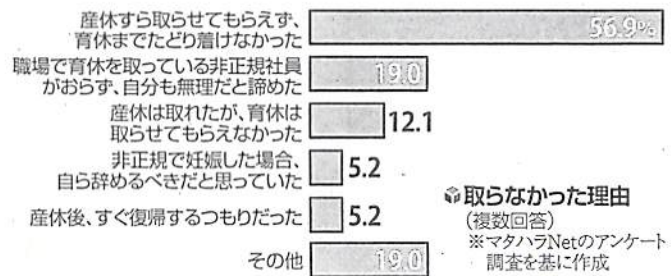
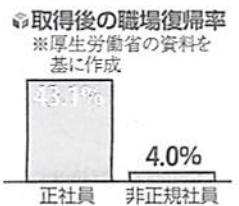
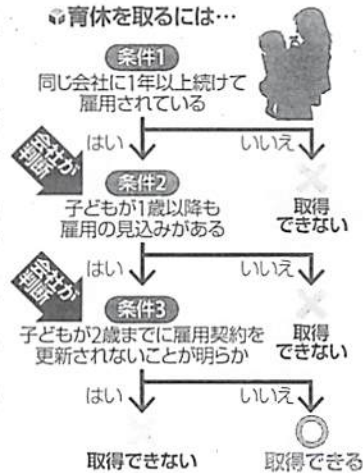
正社員の10分の1

非正規で働く人は増えており、その傾向は女性で顕著だ。総務省の労働力調査(2014年)によると、働く女性2351万人のうち、パートや派遣で働く女性は1332万人と56%を占める。にもかかわらず、妊娠時に働いていた女性のうち、育休を取って職場復帰した女性の割合は、正社員の43%に対し、非正規社員はわずか4%だ。

この差が生じる背景に、特に非正規雇用の女性が働きの

# 育休後の職場

## 非正規雇用の女性の育休



非正規雇用の育休取得に積極的な企業もある。人材派遣大手のスタッフサービス(東京都千代田区)では、2004年度の制度開始から、14年度末までに、派遣社員延べ約4200人が育休を取った。04年度の5人から飛躍的に増えた。同社では、1年以上働き、育休復帰後も就業の希望がある人は誰でも取れる。同社は「育児や介護など、働く時間に制約のある人こそ派遣という働き方を選んでほしい。そのためにも

## 支援に積極的な企業も

育休制度は大切だ」と、同社から派遣され、派遣大手で事務職として働くもその一人。14年6月、7月に長女を出産。育休から復帰した。「母は、また一から職探しはいけなかった」と話す休中も会社に状況を報告したので、新しい派遣先も探してもらえた」と振り返る。育児休業給付金を受け取ってきたのも大きかったと

「母は『もう時間がない』と分かっていたようで、会いたい人に次々来てもらいお礼を伝えてました。最期の3日間はずっとそばにいましたので、人が死んでいく姿を全て見せてもらったと思います。あの時から私は、死というものには怖いことではなく、誰にもいずれ来ること、『生きる』ことには死ぬことだ』と思えるようになりました。母の死に、人間の生き方、死に方を教えてもらったと思います」

10年後、母は喉の奥の腫瘍を手術するかどうか決める際、嫌だと即答。入院して11日に亡くなりました。

「母は『もう時間がない』と分かっていたようで、会いたい人に次々来てもらいお礼を伝えてました。最期の3日間はずっとそばにいましたので、人が死んでいく姿を全て見せてもらったと思います。あの時から私は、死というものには怖いことではなく、誰にもいずれ来ること、『生きる』ことには死ぬことだ』と思えるようになりました。母の死に、人間の生き方、死に方を教えてもらったと思います」

調査は、みずほ情報総研が7、8月、全国1741市区町村を対象に実施。うち889自治体について、昨年度中に介護保険に切り替わった65歳以上の障害者計1764人のサービス利用状況を分析した。

利用していた障害福祉サービスは、「居宅介護」(66%)、日中に施設で介護を受ける「生活介護」(19%)など。利用を始めた介護保険サービスは「訪問介護」(50%)、「通所介護」(19%)などだった。